

教科	英語	学年	第1学年	担当者	池田 裕美 ・ 杉本 優佳 (少人数)
----	----	----	------	-----	---------------------

[教科目標]

外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。

[使用教科書・教材等]

- ・教科書 (「SUNSHINE ENGLISH COURSE 1」開隆堂)
- ・教科書ワーク (ニューエンジョイワーク)
- ・ニューペンマンシップ&フォニックス
- ・聞きトレ64
- ・ノート
- ・ファイル

[学習計画]

学期	単元名	学習のねらい (身につけたい力)	準備物
1 学 期	入門期指導 (Let's Start, Program 1 を含む)	簡単なあいさつができる。 教室で先生が使う英語の指示が理解できる。 アルファベットの音がわかり、読み書きができる。 アルファベットの音読みができる (フォニックス)。	教科書 ノート ファイル リスニング教材 教科書ワーク
	Program 2 アメリカからの転校生	簡単な自己紹介やあいさつができる。 相手の出身国などについてたずねたり、それに答えたりすることができる。 数字を言ったり書いたりできる。	
	Program 3 ウッド先生がやってきた	自分が関心のある事柄(スポーツや音楽など)についての情報を含めた、簡単な自己紹介が言えたり正しく書いたりできる。 趣味や学校生活について、簡単なインタビューをしたり、それに答えたりすることができる。 相手に頼んだり命令したりする言い方がわかる。 曜日の言い方がわかる。	
	Program 4 リサイクル活動	「何」「いくつ」と尋ねる言い方と答え方がわかる。 単数と複数の言い方の違いがわかる。	
2 学 期	Program 5 国際フードフェスティバル	「これは」「あれは」「彼は」「彼女は」と、物や人を指し示しながら話すことができる。 「どこにありますか。」と場所を尋ねることができる。 時刻を尋ねたり、答えたりする言い方がわかる。	教科書 ノート ファイル リスニング教材 教科書ワーク
	Program 6 由紀のイギリス旅行	人について、簡単な紹介をすることができる。 人についてたずねたり、それに答えたりすることができる。 季節や月、日付の言い方がわかる。	
	Program 7 The Wonderful Ocean	「誰」「誰の」「いつ」「どちら」と尋ねる言い方と答え方がわかる。 人称代名詞を用いて、「～は」「～の」「～を、に」「～のもの」という言い方がわかる。	
	Program 8 Origami	「できること」「できないこと」を言ったり、相手に尋ねたりすることができる。 許可を求めたり、頼んだりする言い方がわかる。また、それに答えることができる。	
3 学 期	Program 9 A New Year's Visit	人が今何をしているところか、述べるができる。 人が今何をしているところかたずねたり、それに答えることができる。	教科書 ノート ファイル リスニング教材 教科書ワーク
	Program 10 Mike's Visit to Washington, D. C.	「～しなさい」「～してはいけません」と指示することができる 自分が何をしたかについて、話すことができる。 何をしたかについて質問したり、それに答えたりすることができる。 「なぜ」という質問に対して、「なぜならば」という文で答えることができる。 買い物の表現がわかり、自分が欲しいものを買うための会話ができる。	

[評価の観点と評価の方法] (通知表のつけ方)

評価の観点	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度 25%	外国語表現の能力 25%	外国語理解の能力 25%	言語や文化についての 知識・理解 25%
評価の観点の趣旨	英語に関して興味を持ち、前向きな態度で授業に臨んでいるか。また、与えられた課題をしっかりとやれるか。	自分や相手に関することを、英語で話したり、書いたりすることができる力が身についたか。	英語を聞いたり読んだりして、話し手や書き手の意向などを理解できる力が身についたか。	英語とその背景にあるものの考え方や文化などを理解し、知識を身につけているか。
評価の方法	出席の状況、準備物 授業態度、提出物、自己評価の記録	スピーチテスト 定期テスト	定期テスト	小テスト (単語テストなど) 定期テスト、提出物 (ノート)

[授業の受け方・学習のポイント] (担当の先生からのアドバイス)

- ① 英語の学習では、「聞く」「話す」「読む」「書く」力をバランスよくつけていくことが大切です。
- ② そのためには、耳、口、目、手を使って、習ったことを繰り返し復習しましょう。
- ③ 新しく出てきた単語や文の発音は、自分では学びにくいものです。授業中に先生やリスニングCDの発音をよく聞いて、繰り返し音読して覚えましょう。
- ④ 授業中は、間違いを恐れずに、積極的に発表しましょう。学習についてわからないことは、遠慮なく質問してください。

[家庭学習の進め方・学習のポイント] (担当の先生からのアドバイス)

- ① 宿題プリント (英単語練習など) を済ませ、授業で習った単語を、その日のうちに覚えます。
- ② 授業で習った英文、英単語を何度も音読筆写します。